

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(/)
172		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記	(B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3639. 49	1. jogū jogū jogoreda ときつかう。		
3689. 75	1. bīso bīso = ヌル ときにつかう。		
3720. 71	3. 使う(昔)。今は使わない。「使う」といつては稀 ヒドクヌルとき。アキニカッテ ドフアリクサラレテキタデエカ。		
3730. 43	1 <ビシヨヌレに對していう>。		
3741. 16	9. <たしん人におては使う。こどももある。なぬぬれ汚れ たことには、 ^{20%} 被調査者も使う。単純に濡れたのは使わない>		
3760. 93	9. ^{20%} <在郷では使う>		
3767. 87	5. <子どもがヌレクサッテあそんでいほ……ビレビレヌレ……>		
3768. 50	1. <カラダ 7カラガヌレとは「モロ」ノコトアル>		

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(2)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
3777. 86	1. <クサラガス>	
3780. 65	2. 使わない。 ずぶぬれになったとき、誇張に言うことはある。	
4619 63.	1. <ずぶぬれになることなり>	
4629. 43	1. <ひとく濡れるのかクサルである。>	
4637. 68	5. nurekusatta という。(kusaruという終止形もあるとある。)	
4643. 47	5. 使わない。 <I=L. nurekusaru (ぬれぬれに濡れる) という語あり>。	
4644. 10	5. 使わない。 又クサツタとは言わない。	
4648 42.	4. 使わない。 但し昔の死人は使った。	
4653. 02	5. <又クサツタという風に>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ ぞの中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記 ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
4657. 64	4. 使わない。〈農家の足響は使うようである。〉	
4659. 50	2. 使うこともある。クサル=トル → ずぶぬれになる。	
4659 85	5. 〈但し、びしょぬれになる意〉	
4675. 45	4. 使わない 〈noreru と言う。然し、kuseru と云う語を音まいたことがある様な意もある。〉	
4685. 88	1. 〈しかし、着物などがびしょびしょに濡れる意味で、手などが濡れることは言わない。〉	
4686. 52	1. jogoreru とも言う。	
4695. 21	3. 使わない。但し、昔は使った。今はnureru と言う。	
4697 92	2. 使うことがある。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(4)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
4706 53.	5. 使わない。(ヌクサツタというが、その場合は、 単語としての補助動詞である。)	
4710 18	5 <使わない> 但し、(カ)はぬれになることと、 ダラクサレタルという。	
4711. 49	5. 使わない。但し、ダラクサレタル といえは、「あぶら れになる」意。	
4711. 82	5. 使わない。 <但し ダラクサレ (カ)はぬれ)という ことはある。>	
4716. 20	9. 使わない。 <T=F=L. 此言は「雨にぬれ」 という。> (この場合のクサルは、浮浪表現に使用のある 補助動詞である。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は敢密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		[B 除いた共通語]	(5)
172		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 除いた語形とその注]
4720. 17	1. <ひとくぬれる場合>	
4722. 55	3. 使う<右>。使わない。	
4730. 45	5. 次の様な熟語の一部としてのみ使う。クサル になる→(ひとくぬれになる)	
4740. 93	5. 使わない。〈但しひとくぬれになるのをクサルとヒウ〉	
4741. 44	5. 使わない。但しクサルとヒウ言葉がある。「クサル =ナル」は「ズクサル=ナル」意。クサルは「クサレ」は「クサレ」	
4741. 92	1. <ひとくぬれる場合にかう>	
4751. 42	1 (ひとくぬれたとき) 例 〈今はえらくさできた〉とい う様なとき。又クサル(ひとくぬれること)になる……	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 1728	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(漏れる)		[B 除いた共通語]	
172		[C 除いた特殊語]	(6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4762. 77	9. 「みの」 だったらくさっちゃうな。このあめではなとていう	
4771. 58	8. <amakusaren natte なとていうのを昔まいたことが ある。使ったことはおぼろしくない>	
4772. 48	5. 使わない。 <damakusareni nomu とていう>	
4790. 74	9. 使わない <めれた nuteba e kusatte とていうのを まいたことがある>	
5462. 29	5. (ヌクサルとクサルは同意とすれば使うとなる)	
5463. 12	5 <ヌクサル>	
5463. 73	5. 使う <トリス ルクサツタ と言う>	
5471. 59	5. 使う <リクサツタ と言う>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		[B 除いた共通語]	(7)
172		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B-C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B-C 除いた語形とその注記)
5507. 20	5. <dokusari ni naru のように使うことがある。>	
5516. 19	5. <ドオクサリになる。> (これは濡れになる)	
5518. 71	1. (たはし. ひとく濡れることとヌクサルという区別)	
5578. 27	5. <普通はぬれさるという>	
5579. 10	5. <たはし. ヌクサルという。>	
5589. 30	1. <雨にふぶくと オオクサリ。>	
5599. 41	5. <ヌクサルという。> <small>使わない。</small>	
5603. 35	9. 使わない。妻は「言う人があるよだ」と言った。	
5614. 24	9. 使わない。但し汗で濡れた時には osokusatta という。	
5625. 32	5. 但し「ヌクサル」という。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 172S	地図番号 93	A 普通注記 ページ
項目名 クサル(濡れる)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕 (8)
		172

地点番号	A 語形とその注記 〔B〕〔C〕 除いた語形とその注	A 注のない語形 〔B〕〔C〕 残した語形とその注
5636. 74	1 使わぬ。〈ヒドクヌレキモIガクサツチャツタ〉 (濡れる程度がひどい場合に限られる。)	
5646. 71	2. 使う。〈稀〉	
5648. 13	5. 〈非常にぬれると bofokusarenatta という〉	
5648. 96	2. 少し使う。	
5649. 29	2. 稀に使う。ひどく濡れて水がたれるような場合には 「ヌレクサル」という。	
5667. 77	1 使わぬ。(ぬれぬれに濡れる意)	
5669. 12	3. 使わぬ。昔は使った。	
5670. 47	5. 使わぬ。〈nurekusaruは使う〉	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
1725	93	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(9)
クサル(濡れる)		172	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5676. 84	3. 使う。〈但し老人のみと強調〉ケタオホサナケル クアル	
5677. 28	1. 〈雨に打たれてクサル〉	
5678. 33	1. エラダチ = アッテ ヒドク クサッタ.	
5681. 41	5. 使わない。 複合語としては、sitokusari ni natta などと使う。(全身ぬれぬきになること)	
5682. 92	5. 使わない。〈kurekusaruとは言う。〉 〈ぬれに sitokusari ni natta とも言う〉	
5688. 01	3. 使う。 #E1がケル。 (稀) (70歳以上の人。従って、使うとは言っていない。今では 使わないのではないかとと思う)。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		[B 除いた共通語]	
172		[C 除いた特殊語]	(10)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 除いた語形とその注]
5688. 37	1. <ゲタがクサル = ヌレルこと>	
5690. 96	1. <nureta とは言わん。クサツマツタとニドト 思うとそうじやない。濡れ田ことはんた!>	
5691. 37	5. 使わない。(井) nurekusaita というように。都合 し=形では使わ。 (井三君一お母さんに言わい。 「そく。そう言うわな」)	
5692. 53	5. 使わない。<nurekusaru と言う>	
5694. 79	6. 使わない。ヒトクサル=ナル (稀)	
5711. 85	4 使わない。<南川にニドトはあり>	
5720. 71	1. 田だし。若い人は言わない。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	
172		(C 除いた特殊語)	(//)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
5723. 36	4. 使わない <小名浜にもともと住む人は使わないが、聞いたことがある。>	
5733. 02	1. (衣類のびしょ濡れになることをいう。) <botakusaru ともいう。>	
5770. 11	5. 使わない。 [dobüksare] とは言う。	
5780. 57	2. <濡れに>	
5781. 65	1. <濡. botta haru とも言う>	
5782. 32	3. <古>。 <雨のどしゃ降り時に>	
5790. 03	1. 例. ア× = クサレタ。	
5790. 39	1. ア× = フラレテ 汚れた。 クサレタ。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる) 172		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(12)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5790. 79	1. 524. アメニ フラシテ. キモノカ クサツタ.	
5791. 23	2. 〈稀〉. 〈オシケレニアツテ. キモノカクサツタ〉 (この場合、「ヒシヨリ濡れる」の意味で着物や布 などが濡れる時に使われる。だから、普通・物が濡 れる時は「クサル」とは言わずやはり「ヌル」と言う。)	
6348. 71	5. 使われる。ヌレクサル 〈#〉	
6357. 74	5. 〈ヌレクサル と言う〉	
6358. 43	5. 〈大雨でセトクサレになった等〉	
6366 24	2. 〈希〉 -- 〈おふゆれになった時〉	
6369. 32	1. 〈クサレタ〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 1723	地図番号 93	A 普通注記 ページ
項目名 クサル(濡れる) 172		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (13)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6373. 59	5. 使う。〈しかし、雨にびしょり濡れた時、 <u>ヒトクサリ</u> には <u>サレ</u> 、 <u>ヒ</u> という以外には、あまり使わない。〈 <u>サレ</u> とは <u>言わない</u> 。 <u>サレ</u> たという。〉	
6374. 64	2. 〈今はあまり使わない〉	
6377. 65	5. 〈 <u>クサル</u> = <u>サレ</u> と言う〉	
6378. 87.	5. <u>ヒトクサリ</u> になった。	
6386. 66	5. ^ク 〈 <u>びしょり</u> に濡れたこと <u>ヒ</u> 。 <u>ヒトクサリ</u> = <u>タッタ</u> と言う。〉	
6387. 48	5. ^ク 〈 <u>びしょり</u> になったこと。 <u>ヒトクサリ</u> = <u>タッタ</u> と言う〉	
6387. 62	5. ^ク 〈 <u>ヒトクサリ</u> = <u>タッタ</u> という言い方しかしない。〉	
6388. 89	6. ^ク 〈 <u>サレ</u> か <u>サレ</u> たという言い方はしないが、 <u>びしょり</u> = <u>濡れ</u> <u>サレ</u> 。ヒトクサリ= <u>タッタ</u> ということがある。あまり使わないが……〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(14)
172		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6388 52	5. ⁷ 〈びらしりに濡れることE. ヒトクサリ=フッタヒと言う〉	
6394. 09	5. ⁷ 〈びらしりになることE ヒトクサリ=なるという〉	
6394. 78	5. ⁷ 〈びらしりに濡れることE ヒトクサリ=なるという〉	
6396 08	5. ⁷ 〈びらしりになつた時. ヒトクサリ=フッタヒという言葉はある。〉	
6396 62.	5. ⁷ 〈びらしりになることE ヒトクサリ=ナルと言う。〉	
6397. 24	5. ⁷ 〈びらしりに濡れた時にヒトクサリ=フッタヒと言う。〉	
6397. 62	5. ⁷ 〈ヒトクサリ=フッタヒという言葉はある。〉	
6398 42	5. ⁷ 〈びらしりになつた時にはヒトクサリ=フッタヒという。〉	
6402. 94	5. ⁷ 〈ノレクサッタと言う〉	
6411. 66	5. ⁷ 〈非常にぬれたとき. ノレクサッタと言う〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		[B 除いた共通語]	(15)
172		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6414. 17 ³	使う。クサルは古い言い方である。	
6416 31	5. 使わない。〈但し、ヒトクサレとは言う。びしゃりにぬれることを言う。クサレのみは用いない〉。	
6417. 14	5. 使わない。(びしゃぬれになったことを。ヒトクサレになったと言うところがあるから。クサレが全くないとは言えない。単にクサルと。クサレとしか言わないところがある)	
6417. 72	5. 使う。(ひどく濡れるのを。トククサレになったと言う。クサッタとのみは言わない)	
6421. 82	5. 言わない。たにだ・nurekusaatta とは言う。	
6422. 93	5. <ノレクサッタと使う>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
172S	93	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(16)
クサル(濡れる)		172	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6423. 75	1 * 使わない。(?) <クサッタという時は、ひどく濡れたことに用いたことはない。濡れることはヌレルと言う> (クサルと現在形では用いぬと思われるので(注))	
6424. 20	5. 使わない。<おかりぬれるのE.ヌクサッタという>	
6426. 04	1 * 使う。<ひどく濡れたとき>。	
6427. 40	1. 使う。<ドークサレとも言う。これはひどくぬれたとき>	
6428. 76	9. <クサルというのは、使えぬ状態になったことで濡れたこととはない>。	
6432. 22	5. 使う。[ルクサル]という。すなわち濡れたこと。	
6480. 91	5. <着物のベタクサリになる>。	
6485. 14	5. 使わない。[但し、汗で身体中が濡れたとき、アセデヒクカリ=ナッタ という。]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 172S	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(17)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
6485. 46	1 <ヲオ ガイニフサツタカヒ言う>	
6485. 82	5. 使わない <但し「ヒトクサリニナツタ」ヒトクサリとは腹の中までつぶぬれになってしまふこと。>	
6486 60	5. 使わない 但し又クサツタという言葉にはある。クサルだけでぬれとはいわぬ。又クサルはぬれ(ぬれにぬる)。	
6492. 11	1. <nuure ta sip:ori no nat:a ヒウ。>	
6509. 38	1. <ビシヨ ビシヨニ クサツテ シマツタ。>	
6519. 67	5. 使わない。<しかし又クサルという言葉にはある。> (又クサルはビシヨヌの意。) <たゞクサルでは濡れ の意とはならない。>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () [] は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		[B 除いた共通語]	(18)
172		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6526. 98	5. 使わない。 <ヌレクサルとはいう>	
6601. 25	5. 使わない。(nurekusaru, gitokusari ni naru とは言っていない)	
6601. 93	5. 使わない。(nurekusaru, gitokusari ni naru とは言っていない)	
6602. 62	5. 使わない。(nurekusaru とはよ(言う)とのこと)	
6603. 52	5. 使う。 gitokkusahini natta <だぶ濡れた> gitokkusahini natta <完全に濡れた>	
6603. 82	5. 使わない。 <ヒトクサル=ナレ というのがぬれになること>	
6604. 38	5. 使わない。 <ヒトクサル=ヌレタ とはいう>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 172S	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(19)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6604. 60	5. 使わぬ。ヒトクサルニナル。	
6606. 38	4. 使わぬ。〔自分の父が昔は言った〕	
6607 84	1. <ひとく濡れた時には「け言う」>	
6611. 61	5. 使わぬ。<nurekusaru と言う>	
6611. 68	5. 使わぬ。<nure-kusaru というふうには使う> (スゴヌレの状態は sitokusari ni naru)	
6613. 07	5 使わぬ。<ヌレクサッタ と。ヒトクサリニナルヒナリ>	
6613. 77	5. 使わぬ。<ヒトクサリニナルと言うと、雨に濡れ、濡れるヒ>	
6620. 53	5 使わぬ。<すぶぬゆのときには、nurekusatta と言う>	
6621. 34	5. 単独では使わぬ。 nurekusatta. hitokusatta hitokusari ni naru.	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(20)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6630. 82	5. ひどく濡れたときは. fitokusaripi natta と言う.	
6632. 15	5. ひどく濡れたときは. nurokusatta と言う.	
6633. 89	5. 使わない. 単独にクサルとは言わないが nuhekusaru と言う.	
6634. 32	5. 使わない. (nuhekusaru と熟して言うが. 1=1 とは言わない)	
6635. 54	5. 使わない nuhekusaru という言い方はある. 単独には言わない.	
6641. 43	5. 言わない (nuhekusaru とはいう)	
6641. 97	5. 使わない. nuhekusaru という言い方は1=1は可 kusaru を単独には使わない.	
6643. 72	5. 使わない. (単独で「濡る」とは言わないが. nuhekusaru と熟して使う).	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(21)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6689 28	1. kimono ga kusattjimaau	
6652 06	5. 使わない。〈単独には使わない。 nurekusaru という言い方はする〉	
6652. 77	5. 使わない。 nurekusaru という言い方はけはあ。	
6697. 59	1. <[B]L. kusareru の形〉で。 ex. ameni kusareta	
6700. 25	1. kimono ga kusatta.	
6700 48.	1. amega kuttte kimono ga kusatta	
6701. 01	1. 「自動車にはぬれず。着物が、7 サツタ」の形に使う。	
6710. 55	1. 〈「ame ni kusaru」などを使う〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる) 172		(B 除いた共通語)	(22)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7218. 26	5. 使わない。ただし、nurekusaru とは言う。	
7218. 58	5. 使う。ただし、nurekusatta の形は。	
7256. 64	5. (又クサルという)	
7258. 64	5. (又クサルという)	
7275. 07	5. (又クサルという)	
7289. 31	5. 使わない。ただし、nurekusaru とは言う。	
7304. 29	3. 使わない。〈昔は使ったにヒがある。〉	
7308. 33	5. 使わない。〈クサル、ウツリ、濡れ、水に、時、ヒトクサリ = ツツ と言う言ひ方はする。〉	
7308. 48	5. 使わない。〈ヒトクサリ = ツツ とは言う。〉	
7248. 15	1. kusaru... ぬれる。 nurekusaru 濡るぬれる。	
7248. 49	5. 使う。(ウツリぬれた時、又クサル「ヒ」というのヒの場合には22の通り正確に使うとは言えない)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(23)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7309. 61	5. 使う。〈濡れくさつたと言う〉	
7312. 11	5. 使う。do:gusat:a. hurekusata. という。	
7313 34	2. 使わない。(稀に言うことがある)。	
7331. 27	1. 〈kimon kusara kaite kitoの様に言う〉	
7343. 14	2. 使う。〈今は余り言わない〉	
7353. 03	5. 使わない。f=f=L. 分かりぬれり意で hurekusaru.	
7353. 51	7. 使わない。〈今は言わないが。昔は。ずぶぬれになつたことと又クサツクとは云われないが...〉	
7362. 42	8. 使わない。〈昔は云っていた。雨に ^ナ 木 ^キ 葉 ^ハ クサツクと言っていた〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 1728	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(24)
172		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
7366・87	2. 使う。〈希〉。〈nurekusaru ぬれくさはるにほること〉	
7367・25	5. 使う 〈nurekusaru, ぬれくさはるにほるこゑ	
7367・61	5. 〈nuregusaru	
7370・41	5. 使物ない。 T=F=L, 又クサルは使う。クサル単独 では使われない。	
7373・23	9. 使わない。(50850も着物の雨にぬれにせき。 又クサレとクサレクサレというふうにはいらない)	
7375・96	5. 使わない。〈nurekusareta という〉 (上記okusaruは卑称の播磨語であつて sikusaru などのそれと同じ。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
1725	93	(B 除いた共通語)	(25)
項目名		(C 除いた特殊語)	
クマリ(濡れる)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7377. 27	5. <Gittogusare になるといは。あふぬれ になること.>	
7380. 74	5 使わぬい。<ヌレクサレテキタとはいうか。クサレ単独の用法はない。(ヒニヨヌレテキタともいう)>	
7382 58	3. <停車場からクサレテキタケンニエオヲ> <60才以上の人しか用いない>	
7382 97	1. <雨にヌレタ。雨にクサレタ。両方使う>	
7383. 83	5 使わぬい。<ヌレクサレルということは先づともい優勢に用いる。クサレル単独では同意に用いない>	
7390 26	5. 使わぬい。<ヌレクサレルということはある>	
7390. 70	5 使わぬい <ヌレクサレという複合動詞は使う>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		[B 除いた共通語]	(26)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注記]	A 注のない語形 [B・C 除いた語形とその注記]
7392. 33	1. (老人・若者共に使う。ア×=又シ。 ア×=クサルテキヤ。昔のう言っている)	
7392 45	5. 使わない。(又クサルという語は衣の雨に 濡れてお肌や泥に汚れるような状態になっていたり には用いる。)(但し、同意のクサルという語の単独用法はなし。)	
7393. 62	5. 使わない。(雨に又クサルという=ヒはいうの。 雨=ジツクリぬれることと強調詞(という場合には用いる。))	
7400. 15	5. びしょぬれになった時。hitokusarin hat: d' という 言ひ方をとりだして。単独に kusaru とか kusat: aru ikan とかいうように使う=ヒはなし。由。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		(B 除いた共通語)	(27)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
7433. 37	1. (20才前後の若くも使用可)	
7436 68	5. 但し「濡れクサル」「 濡 クサル」のように一種ののり表現としては使用することがある。	
7446 26.	5. 使わない。着物がクサツタなどは言わない。ボタグサリということはある。おぶぬれの意。	
7450. 20	5. 使わない。< boton-kusari no nat: a といふ >	
8300.	80 5. 使わない。(又クサルという複合動詞としては用いる)	
8301.	76 5 使わない。(複合語(又クサレ)としては用いられる)	
8303 47	1. フォオロクサレテキダ。傘も持同様にクサレトクサレ	
8311. 63.	1. kusarut. 下二段。但し。着物がクサレタとは言わない。雨にクサレタという風に使う。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 1725	地図番号 93	A 普通注記	ページ
項目名 クサル(濡れる)		[B 除いた共通語]	(28)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
8321. 58	2. 使わない。〈雨にくされた、ということがある。ひとく濡れたときに、着物がくされたとは言わない〉。	
8361. 31	1. kussarut. は下二段。但、着物がクワサレタとは言わないで、雨=びつ(び)クサレタとか、雨=ヌレクワサレタのように、複合して使う。	
8372. 47	5. 使わない。〈但し、ヌレクサルルのように複合語は用いる。〉	